

特別講習会

遊休農地の活用法 → 市民農園

究極の自然農法 → 十草農法



手前から耕作地→耕作放棄地→市街地 (JR 成東駅・マンション) の遠景

市民農園の講師



特定非営利活動法人 千葉県市民農園協会 理事長 廻谷 義治 様
東京農工大学農学部農学科卒業
千葉県庁勤務 (農産・農政企画・普及教育・研究開発を担当)
千葉県農業改良協会専務理事、社団法人日本施設園芸協会業務担当部長
日本市民農園連合会長、NPO法人日本グリーンツーリズムネットワークセンター監事
千草台園芸サークル (35年以上続く市民農園利用者団体) 会長

十草農法の講師



特定非営利活動法人 十草農業研究会 理事長 廣野 壽喜 様
1934年、山形県新庄市生まれ。家業の農業に従事していたが、18歳の時に「世界救世教」教祖岡田茂吉氏の自然農法の思想に触れて大いに感銘を受け、その実践に着手。また自身大病を患ったことを契機に入信、布教師としても活動していたが、信念の違いから39歳で教団を脱退、以来農業の研究を中心に活動を続ける。農作業中に偶然気付いた雑草の力に目を付け、雑草の効力を最大限に活用した「十草農業」を提唱。岡山、三重、山形、栃木、神奈川、千葉で実践と普及に努めています。また、都内の大学でも講義を行っています。

開催日：2011年 8月7日 (日)
会場：山武市成東文化会館のぎくプラザ 視聴覚室
時間：12:30～受付
13:00～14:55 市民農園
10分休憩
15:05～17:00 十草農業研究会
17:00～17:30 質問時間

参加費：1,000円 (資料代込み・資料部数確認の為事前に申込みしてください)

主催：里山シンポジウム実行委員会 第2分科会 市民農園

座長：さんむ・アクションミュージアム 木下敬三

JR 成東駅北口市民農園運営団体『くろ』

申込先：0475-80-2661 に下記事項を記入して

FAX または kk1925kk@gmail.com

に mail ください

名前・住所・活動団体名 (あれば)・

年齢・返信の連絡先の TEL、FAX、

e-mail・質問事項など

参加費は当日会場でお願いたします。



姉妹施設：果樹園プレーパーク『しろ』

しろとくろ

上の写真は、山武市の表玄関・成東駅の北口です。手前から耕作農地→耕作放棄地→成東駅→駅南口のマンションの遠景です。駅裏ですから市内外から山武市に来られる方が一番に目に入る風景です。耕作放棄の湿地は、自然と葦原に成ります。放棄を？無秩序な開発を？秩序ある緑地を望むか？

その耕作放棄地の活用方法として、注目されている『市民農園』に、私たちは当地で取り組み始めました。色々な形式で始められますが、私たちは「入園利用方式」を採用しています。

只今、造成中です。開園までは、もう少しお時間を頂いています。市内の遊休農地の活用方法としての『市民農園』をお薦めしたく、開園前に自身の、おさらいも含めて、講習会を企画しました。

そして農園では、自然農法や有機無農薬で栽培した作物で、健康や景観を取り戻していきたいと思えます。日本の農業を改革される、お二人の講師をお招きして講習会を開催いたします。